



地域みなさんからパワーをいただきました



今年も地域の事業所から「勝ちグミ」が3年生全員に届きました。「強く願えば、夢は叶う！夢に向かって頑張ろう！」というメッセージ付きです。公立高校後期選抜受検の3年生は本番に向けて、勉強や面接の練習など、時間を惜しんで行っています。良い結果が出ると信じています。地域の皆さんのパワーをいただきやり抜いて欲しいです。



包括的性教育



りんごっこ保健室キャラバン隊の吉田アイ子先生、柳澤祐子先生、小林美穂子先生、森沢繁子先生にご来校いただいて、各学年で「いのちの学習」を実施しました。

2年生では2時間続けての授業でした。2年生で学ぶ内容は体の成長に関わる内容も含まれていて、より内容の濃い授業です。「ホルモン分泌量の変化が体の変化の要因になる。中学生では夢精なども起

こるが、セルフプレジャーが大切。日本ではこの内容は丁寧に教えていない。大切なことを知らずに大人になる。女性は卵子が9日間くらいかけて成熟してくる。この卵子と、男子の精子が会っていのちが誕生する。射精と排卵。どちらもとても大切なこと。」と教えていただきました。

寂しいとき、嬉しいとき、悲しいときに抱きしめてもらったり、手をつないだりしてもらえると、安心する、元気になる、うれしくなる。皮膚は記憶する袋と言われているそうです。母親のおなかの中にいた記憶が潜在的にあって、ふれあいの時間が安心する要因になります。

しかし、場合によってはふれあいがマイナスになることもあります。大事なのは相手に同意をとることです。お互いの気持ちを確かめ合う事が大切で、相手が嫌と言えば絶対にしない。そんなコミュニケーションが大切であると締めくくり授業が終わりました。

子どもが自分や他人を傷つける悲しい事件が後を絶ちません。「いのちの大切さ」をどのように生徒に伝えたらよいのでしょうか。

「いのちの大切さ」を学習するうえで、「私ってなかなかやるじゃん」、「自分にも結構良い所あるな」という自己肯定感を育むことが大切です。毎日楽しく過ごしている生徒は、他人や自分を傷つけたりすることはないからです。自己肯定感を育むには、クラスの仲間の力が重要です。そんな仲間づくりを目指します。



最後の授業参観日 ありがとうございます

2月13日（金）には今年度最後の授業参観・学年学級PTAを行いました。今年度最後の参観日にご出席いただき誠にありがとうございました。

学校長から、次年度に向けて小海中学校の方向性について。以下の内容をお伝えしました。

より安心して安全な学校づくりを進めるための変更点について

①生徒昇降口の解錠時間について

これまでは、かなり早い時間に昇降口を開いていましたが、解錠時間を7時20分とさせていただきます。理由は、朝の時間の事故防止です。これまでも、教職員の目が行き届かない時間のため、一歩間違えば大きな事故となる事案が発生しています。生徒の安全・安心を守るため、保護者の皆様のご理解をどうぞよろしくお願いいたします。

②小海中学校区の学習環境や支援体制が大きく変わります。

小海中学校区4校は、ウェルビーイング実践校 TOCO-TON に選ばれました。これまで、各学校が、それぞれに教育活動を進めてきました。来年度からは、4校をつなぐTOCO-TONの専任教員が配置されます。TOCO-TONの専任教員を中心に、4校が連携し、全職員で小学校1年生から中学校3年生までの9年間の児童生徒の育ちを見通し、一貫した教育活動を展開します。

また、小海町に「家庭子どもセンター」が設置され、北相木村・南相木村とも連携をしながら、行政が責任を持って小海中学校区の家庭と子ども達を支援します。これまで以上に、学校と学校が、学校と行政が連携し合い、子ども・家庭を支援する環境が整備されます。

③グランドデザインについて

来年度は大きな変更はありません。ただし、「安全で安心して生活できる学校をつくる生徒」については、「いじめ」はもちろん、「暴言」や「暴力」、人権を踏みにじる行為は絶対に許さないという強い気持ちを、全校で確かなものしたいと思います。そのためには、生徒だけに委ねるのではなく、私たち教職員の生徒と向き合う姿勢がなによりも大切であると考えています。私たち教職員も覚悟を持って取り組みます。保護者のみなさんもお力をお貸しください。「安全で安心して生活できる学校」を、子どもたち、教職員、保護者、地域とつくりあげたいと強く願っています。

上記以外にも、学校をよりよい方向に進めるために以下の点について検討中です。

◎学校行事

- ・家庭訪問は、自宅確認訪問とします。保護者は在宅しなくてもかまいません。ただ、担任と話したい内容がありましたら、懇談できる時間を確保します。
- ・行事の精選を検討します。生徒が行事に追われる様子がありません。一つ一つの行事を大事にし、生徒に考える時間を確保し、思いを明確にして行事に臨むために見直しをします。

◎学習関係

- ・清流の時間は引き続き探究学習を行います。教科の学習においても、生徒に「問い」を持たせるような内容に努めます。また、学習集団を学級での授業に固定せず、教科や単元によって学校や学年全体での学習や縦割りグループによる効果的な学習をする環境を作ります。

◎今後の検討事項

- ・物価が高騰しており、修学旅行の費用も例外ではありません。今後、修学旅行の時期や目的地、日数について検討が必要となります。（1、2年生については、京都・奈良方面で業者との打ち合わせが進んでおります）

全国中学校総合体育大会スピードスケート競技 結果

1月31日～2月3日 長野市エムウェーブ

	3000m	4' 28" 61		500m	48" 75
	5000m	7' 39" 23		1000m	1' 37" 56
	500m	47" 16		500m	49" 29
	1000m	1' 35" 03		1000m	1' 41" 04
	1000m	1' 38" 46			
	1500m	2' 27" 74			

